

# 拍動性耳鳴で発症した高位巨大頸静脈球の1例

池田 耕一 重川 誠二 福島 武雄\*  
宇都宮英綱\*\* 温 永明\*\*\*

熊本セントラル病院脳神経外科（原籍：福岡大学医学部脳神経外科）

\* 福岡大学医学部脳神経外科

\*\* 同 放射線科

\*\*\* 温耳鼻咽喉科クリニック

**要旨：**症例は51歳，女性．10年以上前から右耳鳴があったが放置していた．平成14年2月頃から誘因なく，脈拍に一致した耳鳴が常時出現するようになった．耳鼻科受診し，精査目的にて当科紹介入院となった．脈拍に一致した耳鳴は，頸動脈を圧迫することで消失した．CT，MRI，脳血管撮影を施行し高位巨大頸静脈球の所見があり，頸動脈圧迫により耳鳴が消失することにより高位巨大頸静脈球に伴う耳鳴と診断した．頸静脈球高位はMRIの読影の際に時折見かけられるが症状を呈する症例は稀である．また今回の症例のように高位で拡大した頸静脈球は稀であり，拍動性耳鳴の機序についても考察した．

**キーワード：**拍動性耳鳴，頸静脈球高位，bone-image CT，頸動脈隆線